

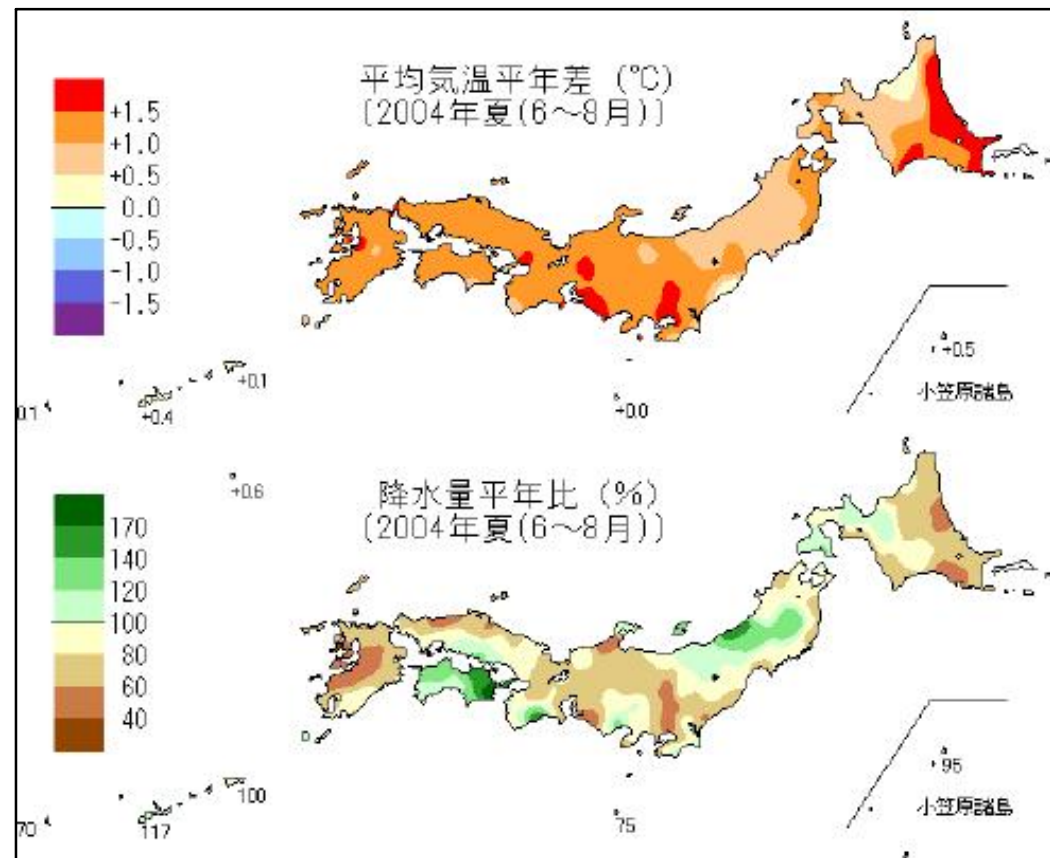
4-1-① 平成16年の夏は記録的な酷暑

関東甲信では、平年に比べて気温が1.3℃高く、降水量も平年の74%でした。
東京(大手町)では、真夏日の連続記録を更新しました。

H16夏の関東甲信の天候の状況

地区	月	気温	降水量
		平年差	平年比
	6月	1.6℃	88%
関東	7月	2.4℃	43%
甲信	8月	-0.1℃	98%
	6~8月	1.3℃	74%

(気象庁データ)



平成16年夏(6~8月)の平年差(比)図 (気象庁データ)

4-1-② 東京では 連続真夏日の記録更新

東京大手町では真夏日が連続40日となり、記録を更新するなど、関東の平野部では酷暑となりました。

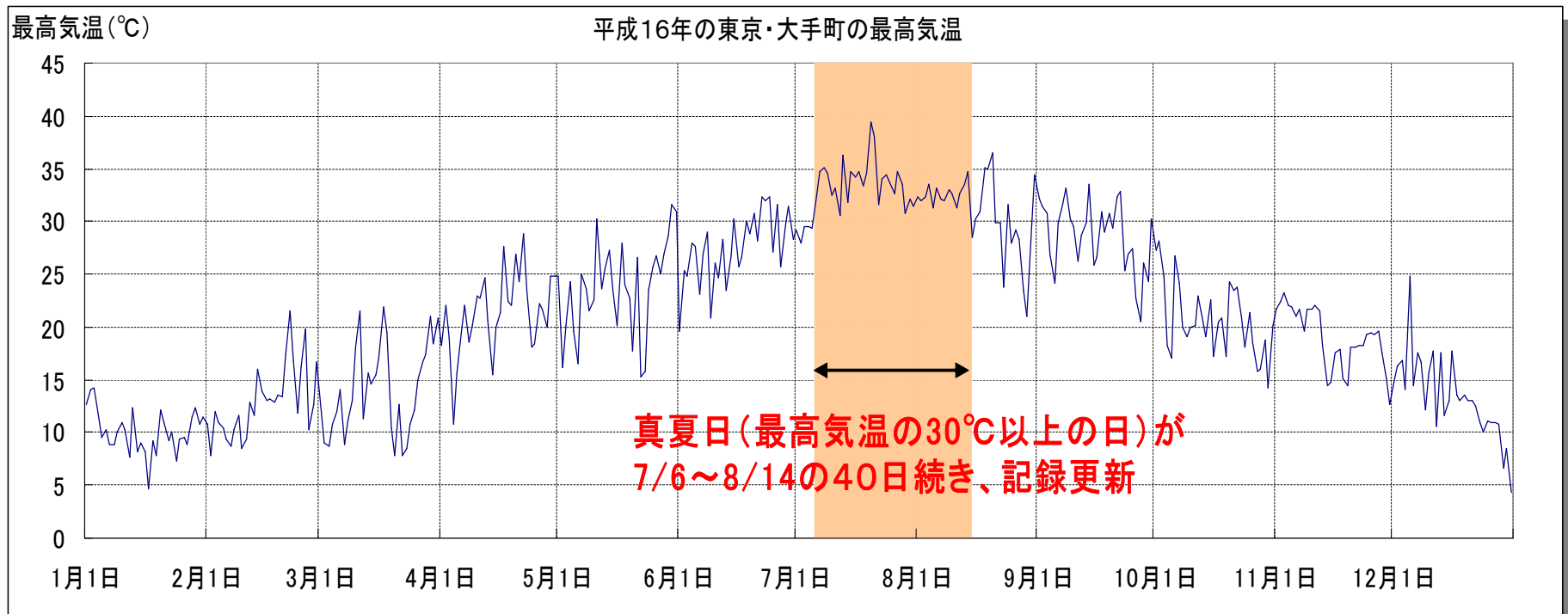


図 平成16年の東京・大手町の最高気温の変化 (気象庁観測データ)

4-1-③ 利根川流域の各地でも過去10年で一番暑い夏

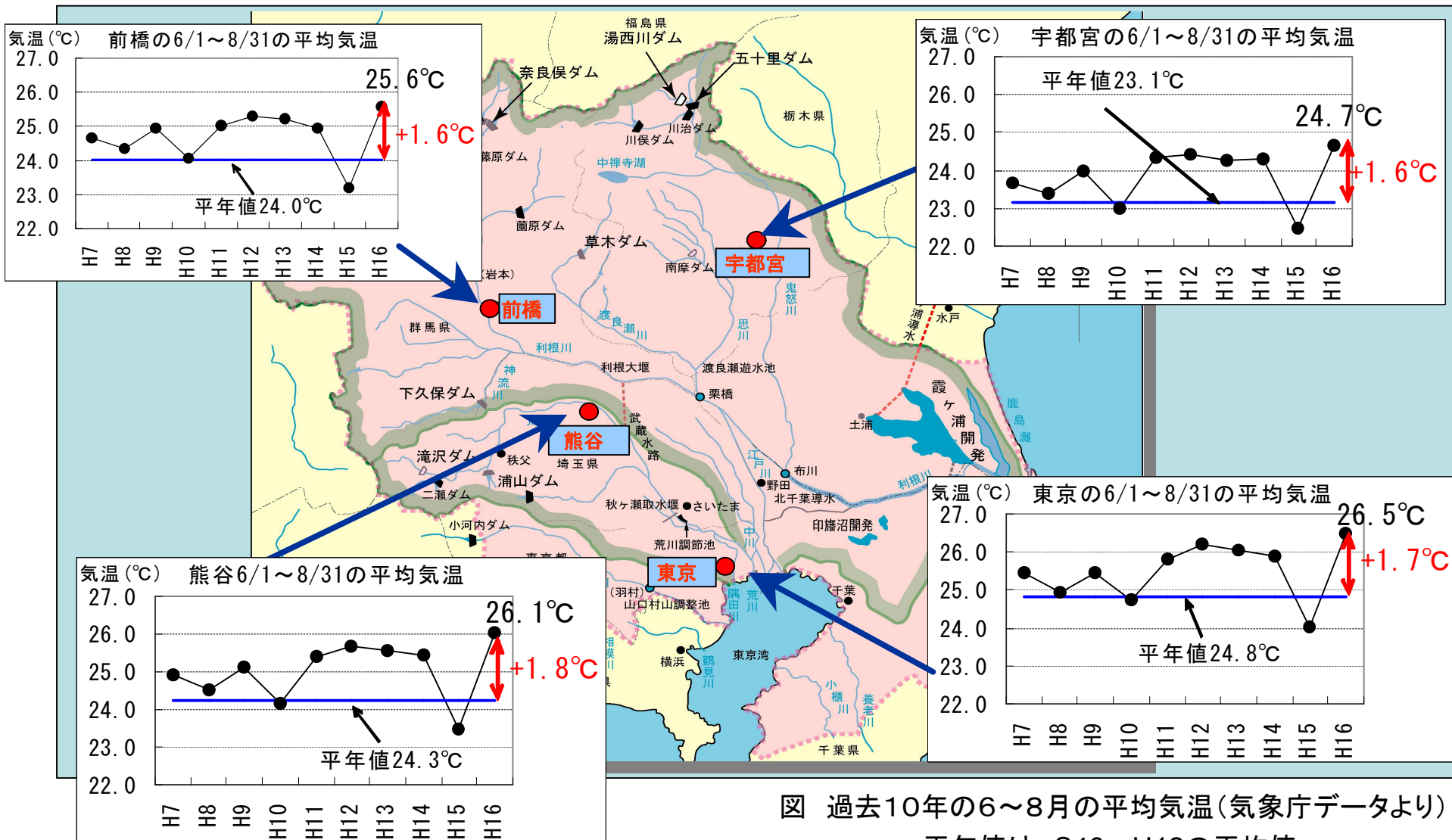


図 過去10年の6～8月の平均気温(気象庁データより)

* 平年値は、S46～H12の平均値

4-1-④ H16年夏の降雨特性

7月の東京、千葉、熊谷は平年の10~20%程度の降雨でしたが、水源地域の藤原、日光では平年以上の降雨がありました。このため、ダムに水を貯めることが出来ました。

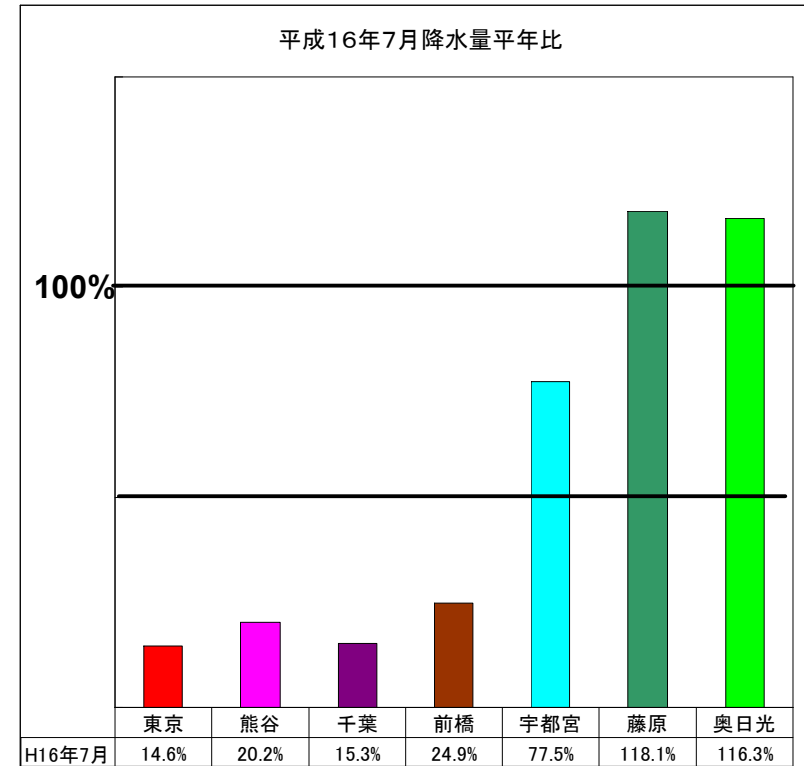


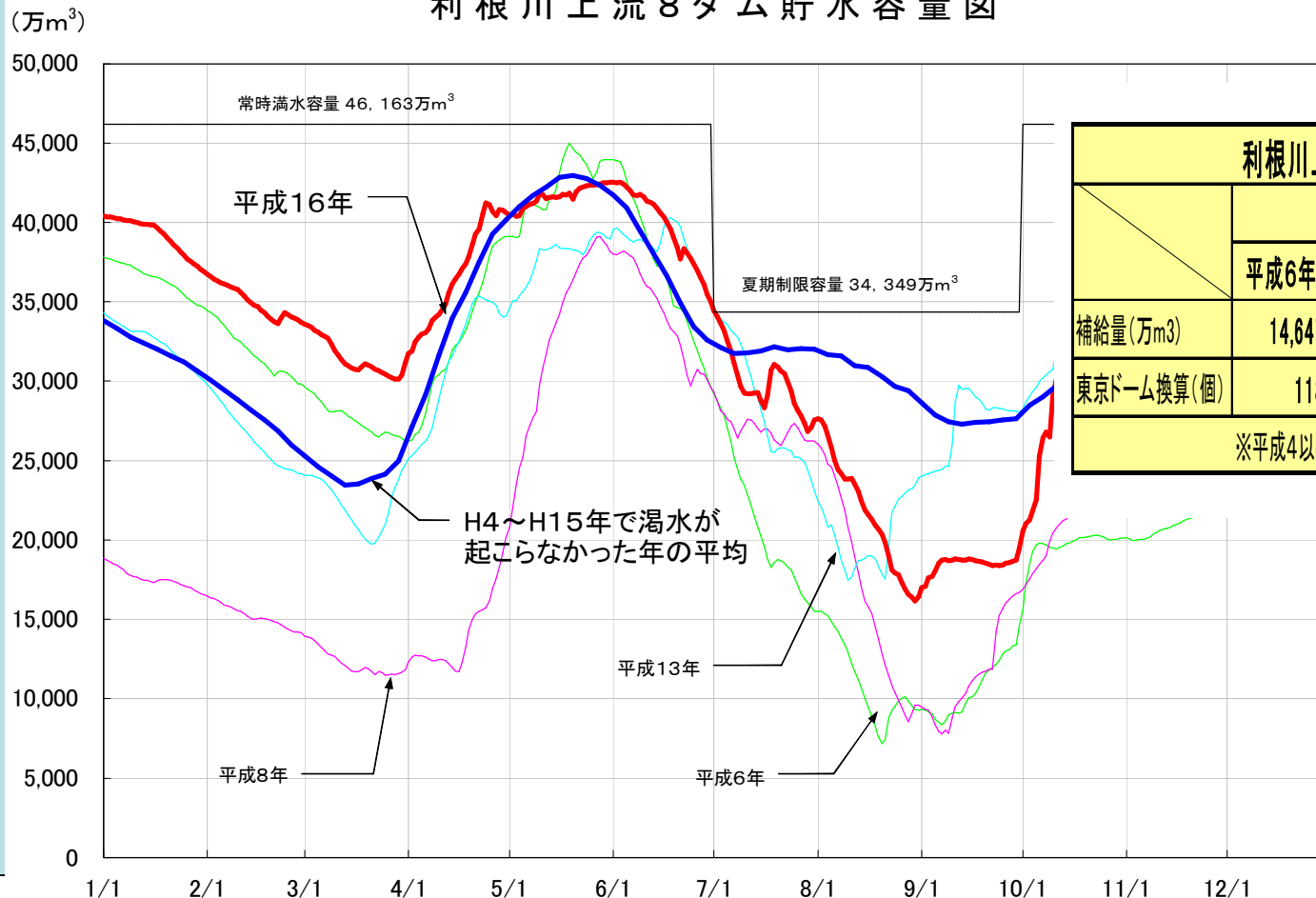
図 平成16年の7月の降水量(気象庁データより)

* 平年値は、S46~H12の平均値

4-2-① ダムの補給

平成16の夏は、酷暑・少雨に見舞われましたが、ダム流域の降雨をダムに有効に貯留するとともに、中流の貯水池、下流の導水施設、河口堰も合わせきめ細かな水管理を行ったため、渇水にならずに済みました。ちなみに、7月を見ても、利根川上流8ダムから東京ドーム88個分の水を補給しました。

利根川上流8ダム貯水容量図



利根川上流8ダム補給量(7月)					
	渇水年			渇水を除く 平均	平成16年
	平成6年	平成8年	平成13年		
補給量(万m3)	14,647	6,235	11,759	1,788	10,971
東京ドーム換算(個)	118	50	97	20	88
※平成4以降					

4-2-② 平成16年の夏の水運用のまとめ

平成16年夏は 酷暑と少雨で渇水が心配

しかし



ダム流域の降雨を有効にダムに貯留

さらに



利根川のダム・導水施設では・・・

①利根川上流8ダムから7月に東京ドーム88個分の水を補給

②渡良瀬貯水池では 補給・貯留をくり返す きめ細かな運用

③下流の導水施設では 3,850万人分の生活用水を導水

その結果



首都圏に住む人々の生活用水や

農作物に必要な水を安定して供給することができました

従来から、営々として進めてきた水資源開発施設の整備はもとより、上流ダム群、中流調節池、下流導水施設、河口堰を広域的に運用する水管理の基本システムが効果を発揮しました。